

Save Our Ocean!

- 1 自治体名：日本富山県
- 2 発表者名：梶 貴晴 (KAJI Takaharu)、中野 友太 (NAKANO Yuta)、寺島 沙羽 (TERASHIMA Sawa)
富山県立高岡高等学校 2 年生 NOWPAP 班
- 3 活動期間：平成 27 年度から継続して、2 年探究科学科の「課題研究」の一環として活動を展開している。
- 4 活動場所：高岡高校及び近隣の海岸
- 5 活動参加人数：7 名 (NOWPAP 班)

6 活動を始めた経緯

私たちは、海が身近な富山県に住み、その恩恵を受けて生活している。一方で、海は人間の出すゴミによって年々汚染されている。海洋ゴミは景観を損ねるだけでなく、海洋生物にも悪影響を与えており、今や大きな国際問題である。この状況の中、美しく豊かな海をつくり、守っていくには、海洋環境の現状を自分たちの目で確かめ、問題を把握し、高校生として何ができるか考え、行動しなければならないと思い、「課題研究」を始めた。

7 発表要旨：

(1) マイクロプラスチックについて

NOWPAP 班では、「美しく、豊かな海をつくり、守っていくために、高校生として何ができるか」というメインテーマのもと、特に近年世界的に問題になっているマイクロプラスチックに着目し、マイクロプラスチックとはどういうものかを調べた。また、危険性を確かめるため、マイクロプラスチックに化学物質を蓄積させるという実験も行った。

(2) 「マイクロプラスチック」認知度調査について

一般の人々を対象に、マイクロプラスチックとその危険性に関する認知度について調査したところ、海岸清掃をしている人の約 40%が「マイクロプラスチックについて聞いたことがある。」と答えたが、街頭調査では、聞いたことがある人は 10%にとどまった。

(3) 活動の展開について

認知度調査の結果から、海岸清掃に参加していない人々、特に、高校生など若い世代に海洋環境問題に関心を持ってもらうことが課題だと考えた。自分たち自身が海岸清掃ボランティアに参加し、地域の人々と交流を深めたり情報収集したりする一方、どうしたらより高校生に関心を持ってもらえるのかや、どうしたらもっと海岸清掃ボランティアに参加してもらえるのかについて、研究を進めているところである。